

広島大学学術情報リポジトリ

Hiroshima University Institutional Repository

Title	近代中国語“和平”の形成と変遷に関する研究：日本語の「平和」との関連づけで
Author(s)	姜, 雨萌
Citation	広島大学マネジメント研究, 25 : 25 - 25
Issue Date	2024-03-26
DOI	
Self DOI	
URL	https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00055767
Right	Copyright (c) 2024 by Author
Relation	



近代中国語“和平”の形成と変遷に関する研究

—日本語の「平和」との関連づけで—

姜 雨 萌

1. 研究の目的

本研究は日本語の「平和」と関連付けながら、文法論、意味論の観点から“和平”の使用例を分析することによって、近代中国語“和平”の変遷のプロセス及びその動機付けを明確にすることを目的とする。

2. 先行研究

まずは、多岐にわたる分野の平和についての先行研究を整理した。中国の“和平”に関する理念や思想を検討する概説的な研究が数多くあるが、語彙化を中心に近代“和平”の意味用法に関する研究が見当たらない。このような研究の現状を踏まえながら、本研究は文献調査や量的分析を行い、“和平”の形成と変容のプロセスを考察する。

3. “和”と“平”の語構成

古典における“和”と“平”の意味用法や語構成を分析することにより、“和平”が並列複合語として形成されることの動機付けを明確にした。

“和”と“平”の語構成力は非常に高く、前項語素と後項語素として数多くの複合語が構成される。並列構造、動賓構造に加え、動補構造も成り立っている。そして、構成される複合語の意味を分析したところ、“和”は安定な状態を表す一方で、“平”は乱から治へと変化する過程を示していた。また、“和”と“平”の並列使用を考察し、意味用法の共通点は“和平”を形成する内在的な要因であると証明した。元々“和”と“平”は礼楽を修飾する際に連続して使用し始めたが、隠喩で“和平”は政治と関わり、安定と平和の意味を持つようになった。“和平”は述語として個人や社会、国家、文化交流などのテキストで用いられ、安定・調和の概念を表す。一方、字順逆転語“平和”も同じく人を修飾できるが、古典には“和平”と“平和”の語義は区別され、近代のような混同現象が見られないことが分かる。

4. 近代“和平”の形成と定着

近代の西欧の平和運動と平和思想が中国に伝えられたことにより、“和平”はpeaceの訳語として固定していた過程の中で、古典の“和平”と比べて意味縮小が起こったことを立証している。“和平”は述語（形容詞）だけでなく、名詞の性質も帯び、動賓構造や偏正構造の語句を構成する。

日本の「平和」は中国語“和平”に影響を与えることを証明した。梁啓超の作品を調査したところ、梁は

日本語の「平和」を借用し、“和平”と“平和”の概念は混同されていたが、“和平”のほうが統語範疇が多様化していることが分かる。“和平会”“和平主義”及び“和平”と関わる固有名詞の分析を通じて、“和平”が次第に“平和”に取って代わったプロセスを明確にした。《申报》のデータによると、“和平”が政治的なテキストから離れ、経済領域の概念になることは、“平和”と“和平”の意味範囲の分化の言語内の動機付けである。

5. 毛沢東時代の“和平”の変容

《毛沢東選集》を調べると、毛沢東の“和平”は政治的テキストの中に戦争や革命の対義語として捉える。“戦争”と“和平”の共起成分（接頭辞、副詞など）を比較し、これらは逐一对応するものではないことが事実である。そして、“和平空气”“假和平”と“和平演变”などの日本語に見られない複合語や語句を分析し、“和平”は意味論的にはより抽象化、多様化され、副次的意味を生かし、政治的な宣伝になり、次第にイデオロギーの象徴になった。さらに、現代作家の作品を検索したところでは、“和平”の意味的特殊化は毛沢東の時代において定着したと判断される。“和平”はますます日常生活に浸透し、日常語化の傾向が見える。

6. 1978年以降の“和平”

“新时期”の国際情勢や社会のニーズに応じて“和平”の範疇は一層拡大し、平和の概念は多様な分野と関わってくる。“和平”の副次的意味が増強していく、平和のイメージを喚起させるものになる。“和平”はより抽象的になり、テキストによって多様な解釈が可能である。平和研究関連用語の増加に伴い、平和概念が拡大し、外延的にも内包的にも変化が見られ、言語上の多様な組み合わせが現れる。また、日本語と比較しながら、両言語における平和の意味用法の相違点を指摘した。

終章では、本論文をまとめ、今後の研究課題を述べた。